

「アジフライの聖地 松浦」アワードを創設 初めての表彰式を開催



●受賞者 株式会社 三陽
(高橋利明代表取締役社長)

今年度新設の本アワードは、松浦アジフライ憲章を遵守し、聖地松浦の推進に貢献した企業・団体、または個人を表彰するものです。

受賞した株式会社三陽は、学校給食への供給や、松浦鉄道車両へのラッピングなど、意欲的な取り組みを通じて、松浦アジフライの普及促進、認知度向上、シビックプライドの醸成に大きく貢献。

その功績に感謝し、表彰状と記念品の盾を贈呈しました。

高橋社長は、「アジフライのブランド力は評価されている。このブランドを落とさず、新たな食べ方を研究して商品開発も頑張っていきたい」と話しました。

松浦市で初めての国際交流員（CIR）を任命

昨年からモンゴル国ホジルト郡との姉妹都市交流が再開。

モンゴルとの交流・協議・通訳や、元寇にかかる市の取り組みを進めるため、8月4日にモンゴル出身の国際交流員（CIR）を任命しました。

これは、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の外国青年招致事業（JET プログラム）を活用したものです。

8月6日には、市役所にて辞令交付式を開催。辞令を受け取ったムンフバヤル・サランゲレルさんは「皆さまと力を合わせ、一日も早く貢献できるように頑張ります」と話しました。



名前 Munkhbayar Sarangerel
(ムンフバヤル・サランゲレル)

出身：モンゴル国ウランバートル市

言語：モンゴル語、日本語、英語

略歴：名桜大学院卒（沖縄）、JICA モンゴル勤務

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式を開催 寄附企業のご紹介

企業版ふるさと納税を活用し、本市へ寄附をされた企業さまに、感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しました。

温かいご支援をいただき、ありがとうございました。

7月に感謝状贈呈を行いました寄附企業さまをご紹介します。



株式会社 アイモバイル

本社所在地 東京都渋谷区

対象事業 安心・幸せのまちプロジェクト

松浦港緑地整備に伴う遊具設置事業

事業内容 松浦港緑地に遊具を設置する事業

新鷹島学校給食共同調理場完成



令和6年度より進めていた新調理場が完成し、2学期より鷹島小・中学校への配食が始まっています。

旧調理場は昭和49年に建設され、築50年以上経過し老朽化が著しいことから、建て替えることとなりました。

新調理場は HACCP の概念を取り入れるなど、衛生管理の充実を図っており、一日最大160食の調理能力を有する施設です。

今後も鷹島地区の小・中学生へより安全・安心な学校給食を提供してまいります。

※HACCP（ハサップ）…食品の安全性を科学的に確保するための衛生管理手法

松浦市消防署鷹島出張所新庁舎完成



施設の老朽化に伴い、令和5年度から新築事業を進めていた新庁舎が、6月30日に完成。

鷹島地区における新たな防災拠点のスタートを記念し、7月24日に県議会議員や市議会議員などの関係者を招いて落成式を挙行了しました。

新庁舎は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積368.89㎡で耐震構造となっており、蓄電池を備えた自家消費型太陽光発電設備も設置予定です。

7月16日から新庁舎（鷹島小中学校前）へ移転、業務を開始しています。